再登板、結果を出す

議長　西村　和恭
副議長　田井中 丈三

このたびの役員改選で、議長ならびに副議長の要職に就任しました。共に2度目の登板で、その職責の重さを痛感しております。

議員定数が3名減となった一年前に議長に就任し、その職責を十分に認識しながら、議会運営と議員力向上を目指し、「着眼大局、着手小局」の覚悟で臨みましたが、目先のことに追われ自分の甘さが出てしまいました。それ故に、小さな積み重ねができずに、大きなことは成しえないという、現実を突きつけられ、自らの無力さを痛感した一年でもありました。

このようなわたくしに、再登板の機会を与えてくださり、その期待に報いるためには、結果を出すことであると自覚しております。

ごく当たり前のことですが、今一度、原点に立ち返り、

一、先輩諸氏が築き上げてこられました東近江市議会の良さを守りつつ、見直すべきところは議員間で議論を尽くし、議会の機能を高めてまいります。

一、東近江市議会基本条例に基づき、行政のチェック機能、市民の意思反映、提言と政策立案など、二元代表制としての議会の役割を果たしてまいります。

一、議員自らが自己研さんを重ね、市民の様々な意見を公正に捉え、全議員が市民の皆様から頼られる議員を目指し活動してまいります。

すべては、東近江市民のために働いてまいります。市民の皆様、どうか、東近江市議会の底力に強い関心をもって注目し続けてくださるようお願い申し上げます。



新体制の紹介

議長　西村　和恭　　副議長　田井中 丈三　　監査委員　市木　徹

所属する委員会の名称	東近江市民クラブ											太陽クラブ			日本共産党		公明党		万葉会		会派無
	奥村 忠彦	澤居 寛明	森 鉄兵	山本 直彦	青山 孝司	鈴木 則彦	西村 和恭	田井中丈三	西﨑 彰	西澤 由男	市木 徹	大橋 保治	松本 喜美	戸嶋 幸司	安田 高玄	山中 一志	田郷 正	山下 敦司	吉坂 豊	西川 清里	中村 和広	小梶 昌巳
議会運営委員会			●	●	●	●						◎		○			●		●		●	
予算決算常任委員会	●	●	●	◎	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	●	●
総務常任委員会		○			◎			●	●				●			●						●
福祉教育こども常任委員会	●		◎								●			○			●	●		●		
産業建設常任委員会				●		◎				○		●			●				●		●	
河川整備推進特別委員会	●				●	◎			○						●	●		●			●	
(仮称)黒丸SIC・文化スポーツ学研ゾーン整備計画調査特別委員会			●		●	○				◎	●			●			●	●			●	
議会だより編集委員会	●	●	○										●	◎		●		●		●		●

◎委員長　○副委員長　●委員

二次元コードを読み取ることで、各議員の質問の様子を映像にてご覧いただけます。



無会派

近江鉄道運賃の見直しを

小梶　昌巳

Q 近江鉄道の運賃は、距離計算において1キロメートル未満の端数が切り上げられることから運賃区分が変わり、わずかな距離の違いで運賃が上がる区間がある。

例えば、八日市駅から近江八幡駅までは9・3キロメートルで、端数が切り上がることで10キロメートルの区分となる。その結果、新八日市駅から近江八幡駅までの区間と比較して運賃に70円の差が生じている。

近江鉄道線の運賃に係る距離計算の端数処理について、営業キロの1キロメートル未満の端数を切り上げて運賃を算定する方式から、四捨五入方式への変更を近江鉄道(株)に申し入れることはできないか。

A 具体的な運賃としては、八日市駅から近江八幡駅までの区間は10キロメートル460円、新八日市駅から近江八幡駅までの区間は9キロメートル390円となっています。

運賃設定は、鉄道会社の経営判断に基づくものであり、市から直接要望できる立場にありません。

一方で、近江鉄道線は上下分離による公有民営方式へ移行しており、他の民間企業とは性質が異なるものと認識しています。そのため、近江鉄道沿線自治体の担当者会議などの場でご意見があったことを伝えていきたいと考えています。





万葉会

安心して働き続けられる環境を

西川　清里

Q ハラスメントは、生活や人生にも影響を及ぼす人権問題であるが、

①適切な指導とパワーハラスメントをどのような基準や考えで区別しているのか。

②職員が指導とパワーハラスメントの違いを理解するための研修や啓発を行っているのか。

A ①適切な指導は、業務の遂行や職員の育成・成長を目的として行われるものであるのに対し、人格を否定するような言動、業務上明らかに不要な苦痛を与える行為、過度な叱責など指導の範囲を超えるものはパワーハラスメントに該当するものと考えています。

②管理職などの研修や職場内でのグループ研修において理解を深めています。

Q 策定中の第4次男女共同参画推進計画において、女性が安心して働き続けられる環境づくりをどう位置付けているのか。

A これまでから第3次男女共同参画推進計画においても、誰もがその個性と能力を十分に発揮できる社会を築く上で、重要な施策の一つであると認識して取り組んできました。

第4次男女共同参画推進計画においても、引き続き重要な施策と位置付け、男女を問わず誰もが仕事と生活の調和を図りながら自分らしい生き方や働き方を選択できる社会の実現を目指していきたいと考えています。

